

なぎさ



病院理念 人にやさしく 信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
 私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
 私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
 羽咋郡市広域圏事務組合

公立羽咋病院

〒925-8502
 石川県羽咋市の場町松崎24番地
 TEL (0767)22-1220
 FAX (0767)22-5598
<https://www.hakuihp.jp/>

当院で行っている 最近の白内障手術について



白内障の治療は濁った水晶体を取り除いて人工の透明なレンズ（眼内レンズ）を挿入して視力を回復させます。眼内レンズは少し前までは単焦点レンズをメインに使用していました。これだとピントの合う箇所は1カ所でした。遠方か近方か中間距離かのいずれかでそこから外れたところではピンボケになり、眼鏡で補正する必要があります。遠くが裸眼でよく見えると、近くは近用眼鏡が必要、近くが裸眼でよく見えると遠方は遠用眼鏡が必要となることが多かったです。運転、テレビは裸眼で見えても、カーナビや料理ではピンボケになります。読書が裸眼でできる場合は運転やテレビを見る際は遠用眼鏡が必要になります。5年前から当院で使用する眼内レンズは焦点深度拡張型の眼内レンズをメインにしています。

保険適応外で使用できる多焦点眼内レンズもありますが、費用は高額になります。当院で使用する眼内レンズは健康保険適応でなおかつ、広い範囲に焦点が合うレンズです。遠方に焦点を合わせた場合でも遠方から中間距離（約70cm）のところまでピントが合います。眼鏡なしでも日常生活に必要な範囲、テレビや料理、調理でははっきり見えることが多いです。運転時も遠方からカーナビまでピントが合います。理論的には読書や新聞の小さい字を見る際には近用眼鏡が必要となりますが、眼鏡なしでも読める方も多数おられます。近視の度数も改善可能で手術前に強度の近視で強い度数の眼鏡やコンタクトレンズ装用していた方でも眼鏡不要となり、よこばれる方も多くおられます。以前使用していた単焦点眼内レンズと比べると術後に眼鏡を必要とされる方が少なくなりました。また乱視の矯正もできる眼内レンズを積極的に使用しており、手術前乱視が強い方でも乱視を減らすことができ、より良い裸眼視力が期待できるようになりました。焦点深度拡張型で乱視矯正も可能な眼内レンズも使用しています。極

強度の近視、強度の遠視、強い乱視の方などではこの眼内レンズが使えない方もおられますが、それはごく一部の方です。多くの方で焦点深度拡張型眼内レンズを使用できています。



眼科医長 北野 貢市

ドライアイの治療について



<ドライアイの自覚症状>

- まぶしい ●目がゴロゴロする（目にゴミが入っているような感じ）
- 目が痛い ●ものがかすんでくる（新聞、雑誌、編み物など）
- 目を開けているのがつらいときがある ●目が赤くなる

当てはまるものはありましたか。このような症状がある方はドライアイの治療でよくなる場合があります。

<ドライアイの治療>

- ① **目薬**：もっともよく行っている治療です。目薬の種類はいくつかあって、涙の代わりにする目薬や目の表面に水分をためておく働き目薬などがあります。
- ② **涙点プラグ**：目薬では治療が不十分な場合に行います。涙の分泌が低下している方に有効です。涙の出口に栓をして涙を目の表面にとどめる働きがあります。
- ③ **アイシャンプー・目のあたため**：目の表面のうるおいを保つための油分の分泌をよくすることで目の不快感などを改善します。

<さいごに>

ドライアイは冬の乾燥や暖房でひどくなることが多いです。目薬やちょっとした習慣でよくなる場合があります。目の不快感でお困りの方はぜひご相談ください。

眼科医師 中島 彩

当院のタスクシフト・シェアの取り組みを全国に発信!

タスクシフト・シェアとは、医師の負担軽減と医療の質向上のため、業務を多職種で分担する仕組みです。当院では、平成20年頃から多職種との業務分担や専門性の高い看護師育成を進めてきました。この度、その取り組み内容について日本看護協会からヒアリングを受け「2025年度看護の専門性の発揮に資するタスクシフト全国セミナー」で熊本済生会病院と共に発表することになりました。

看護師は患者に寄り添うケアに注力し、病院全体で良好な信頼関係構築に努め、さらなる多職種連携を進めていきたいと考えます。

副総看護師長 森本 ゆかり



よろしく
お願いします

新任職員 紹介



外科医師 藤坂 悠司

星座：ふたご座
趣味：野球観戦・旅行

2025年12月まで公立宇出津総合病院で外科医として勤務し、能登北部医療圏での地域医療の厳しさも学びました。当院でも外科疾患を中心に地域医療の一助となるように努力いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

看護大実習の様子



薬剤師

石川県立看護大学の1年生24名の基礎看護学実習を当院で受け入れしました。2025年11月11日(火)から11月13日(木)の3日間で行われ、若い感性豊かな学生に、明るい未来と希望を感じることができました。病棟実習、他職種実習を1日ずつ経験し、看護学生それぞれが、看護師の仕事だけでなく、どの職種も『患者さんの立場に立って物事を考えている』と学びを得たほか、看護師が他職種と協働する上で、お互いの仕事に対する理解も必要であると学び、当院のチーム医療の大切さを実感し、連携の良さを感じていました。実習最終日には、看護学生からたくさん学びを得ることができた報告とお礼の言葉を受け取りました。実習にご協力された皆様へ、心より感謝を申し上げます。



臨床検査技師



感染制御実践看護師



作業療法士



病棟看護師



理学療法士

地域包括ケア病棟主任看護師
竹津 尚子

2025年度 七尾鉄道部 車内殺傷事案等対応訓練への参加について



「2025年度七尾鉄道部 車内殺傷事案等対応訓練」に羽咋病院 DMAT として参加しました。DMAT（災害医療支援チーム）は、災害時に現場で活動する専門的な訓練を受けた医療チームです。訓練では鉄道内での殺傷事件を想定し、医療・警察・消防などが連携し、現場での応急処置やトリアージを実施、限られた時間内での迅速な対応の重要性を再確認しました。今後も関係機関との連携と情報共有の強化に努め、地域の安全確保に貢献していきます。

DMAT（災害派遣医療チーム）臨床工学技士
木下 諒

「羽咋市病児保育施設 “すこやか一む”での感染対策」 についての出前講座

令和7年7月1日より開園となった羽咋市の病児保育施設で、職員を対象に感染対策講習会を実施しました。開園になり既に運用開始されているため、施設内の巡視を行い、感染対策上改善した方が良いことを指導したり、困っていること等の質疑応答を行い、利用する病児や保護者、そして職員のリスクを軽減できるように助言を行いました。保育士は保育の“プロ”ではありますが、病児となるとまた対応が異なります。自分たちも守りながら病児を抱える保護者のサポートをする職員の一助となればよいなと陰ながら思っています。

感染制御室主任看護師 磯見 英美



羽咋市のホームページ掲載の写真

地域出前講座を活用していただきありがとうございます。

2025年度12月までの期間で14件のご依頼があり実施しました。依頼内容では感染対策が多いのですが他にもみなさんの集まりに役立つお話しができると思います。詳細な内容についてはお電話で気軽にご相談ください。

よく考えよう!呼吸は大事だよ!	担当:小崎 孝幸、寺谷 美希子
こんな時どうする?急変対応のお悩み解決★	担当:森本 ゆかり、小崎 孝幸
こんな時どうする?感染対策編★	担当:磯見 英美、北 信代
★知って得する!!介護保険制度と社会保障制度の仕組み★	井上 麻有子、西井 寿文、渡 留美
うまく付き合っ!糖尿病なんてこわくない!	藤田 加奈
守ろう元気な肌、予防するためのスキンケア	嵐 通子
×強制◎共生するために正しく理解できていますか?	四道 昭子
長生きの秘訣はズバリこれ!!~正しいお口のケアと栄養バランス~	三宅 元子

講師料は2時間以内5,000円となっております。

連絡先:医療サービス推進室 山中 電話 0767-22-1264 (直通)

災害訓練

近年、全国各地で地震や豪雨による大規模な災害が頻発しており、能登地方でも2024年1月に最大震度7の地震が起こったことは、忘れることはできません。いつ発生するかもしれない災害に対し、日頃からの備えが不可欠です。

羽咋病院では災害発生時に、患者さんと職員、そして地域住民の安全を優先に確保するため、初動体制の確立、避難誘導、トリアージなどの実践的な対応能力を向上させることを目的として、11月に院内災害訓練を実施しました。訓練では、職員一人ひとりが防災意識をもち、真剣に取り組んでいました。今後も防災・減災への意識を高め、地域の災害拠点病院としての機能を果たせるよう、訓練を続けてまいります。



災害対策本部



赤(重症)エリア

DMAT(災害派遣医療チーム)看護師 畑谷 幸代

やすらぎコンサート 再開

コロナ禍で休止していたコンサートを今年ようやく再開できました。令和7年10月31日に、のとアミカル・ド・シャンソンのみなさんが、12月18日に羽咋白百合幼稚園の園児さんが来てくださいました。シャンソンでは久しぶりに病院内に音楽を感じることができ、白百合幼稚園の園児さんたちの笑顔には、患者さんも病院スタッフも元気づけられました。



医療サービス推進室
社会福祉士 井上 麻有子



助産師相談室が拡大します！

助産師相談室のご案内

【相談内容】

- ①女性の病気に関すること、性に関する悩み
 - ②妊娠・出産・子育て・母乳・ミルク・離乳食など
- ※相談は無料 ※母乳マッサージは2500円

【持ち物】

母子手帳、マイナンバーカードなど

あなたのマイ助産師になります



【日時】 月・火・水・木・金曜日
13時30分～16時30分
事前予約が必要です

TEL 0767-22-1220

Mail honwaka@hakuihp.jp

ありがとうございます

- ♥なごさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥写 真 羽咋写真協会の皆様
- ♥絵 画 羽咋美術協会の皆様
- ♥書 字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥俳 句 宝達志水町若草会の皆様
- ♥園児の絵 とき保育園



季節の 写真



どんよりとした天気が続く冬の北陸ですが、朝から好天に恵まれた日がありました。朝靄が消えかかっている河北潟を撮影しながら久しぶりに青空を見た気がしました。

文・写真

リハビリテーション科副士長
大西 公亮